



平成 19 年度より

奈良教育大学特別支援教育研究センター が 開設されました！

平成 19 年度から全国の小・中学校では特別支援教育が全面的に実施されています。今まさに“個々のニーズに応じた支援”、“場の教育からニーズ教育”への転換がはかられているところです。これまで十分な支援を受けてきたとはいえなかった、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、高機能広汎性発達障害(PDD)の子ども達も特別支援教育の対象となります。

このような状況を受けて奈良教育大学は、これまでの地域との連携の実績を踏まえ、さらに発展させていくために、「特別支援教育研究センター」を設立しました。既に1年以上経過しますが、多くの子どもさんや保護者の方々、先生方が相談に来られました。今後も奈良の子ども達のために、いろいろな場面で貢献していきたいと、スタッフ一同考えております。



ごあいさつ

特別支援教育研究センター長 岩坂英巳

特別支援教育の本格実施にあわせ、奈良教育大学特別支援教育研究センターが、「特別支援教育高度実践モデルの開発・推進事業」として開所してから、はや1年がたちました。センターの3つの目的である特別支援教育に関わる実践的研究、人材養成、地域連携を果たしていくために、本ニュースレターにありますように、種々の相談事業や研修会を実施してきました。数少ないスタッフが、その専門性と明るさを存分に発揮して取り組んできたこともあります。学内外の多くの人々に支えられ、当初の計画を十分に果たすことができたと思います。何よりも、相談や専門プログラムに訪れてくれた子どもたちや保護者の満足した笑顔、それに研修会に参加してくれた先生やさまざまな専門家の皆さんの真剣な顔が、センターの事業を後押ししてくれました。この場を借りまして、ご支援、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。本年度も、実施計画にありますように、さらに専門性を高め、地域との連携を重視した取り組みを推し進めてまいります。子どもたちの笑顔と成長のために、なにとぞセンターをご活用くださいますようお願いいたします。



平成19年度の取り組み

【発達支援】

◆相談件数：新規75件(再相談、集団プログラム2度目以降を除く)

◆相談例

- ・国語や算数でつまずくとパニック状態に。担任の先生に当センター利用を勧められた。(小学生)
- ・アスペルガーと診断されている。勉強や友人とのトラブル等、親として対応に困っている。(中学生)
- ・学校に馴染めない、友人ができない、自尊心が低い等、親として発達障害を感じている。(高校生)

*相談後、本センターの集団プログラム(SST、PT)に参加を希望される方もいます。

【教育実践支援】

◆相談件数(平成19年4月～平成20年3月現在) 新規25件

◆相談例

- ・広汎性発達障害の疑いのある児童への学校およびクラスでの問題行動への対応の仕方。(小学校の先生)
- ・知的な遅れや自閉傾向がある生徒で、ニードの低い家庭へアプローチの方法についての助言。(中学校の先生)
- ・SST参加者の学校を訪問し、連携活動を積極的に行いました。(本センターSST参加者)

*来所相談後、ご本人・保護者むけの発達相談や巡回専門相談につながったケースもあります。

【研修会の実施】

平成19年度公開講座 「特別支援教育のゆたかな実現にむけてー本人の困り感を知り、実のある支援を実現するためにー」		
10/27(土)	「障害者権利条約からみた学校教育特別支援教育の課題ーインクルーシブ教育の合理的配慮ー」 「特別支援教育の現状と実践的課題」	玉村公二彦 河合淳伍
12/8日(土)	「発達の支援から行動改善を図るー少年院の取り組みからー」	東別府修二氏(加古川学園統括専門官)、松浦直己
12/22日(土)	「自閉症理解の最前線」	十一元三氏(京都大学大学院医学研究科)、岩坂英巳
1/26(土)	「シンポジウム「特別支援教育のゆたかな実現にむけて」 シンポジスト:奈良市の幼稚園・小中学校で活躍中の先生方、コーディネーター:岩坂英巳、越野和之	
11/3(土)	特別公開講座(共催事業)「すべての子どもが輝く特別支援教育 ーUniversal Designed Educationを目指そう」	品川裕香氏(教育ジャーナリスト、教育再生会議委員)
総参加者数 630名		
奈良教育大学特別支援教育研究センター 養成講座 (参加者数)		
6/23(土),24(日)	「ペアレントトレーニング指導者養成講座」	岩坂英巳 61名
7/28(土)	「ティーチャートレーニング体験講座」	岩坂英巳、奈良市・橋本市で活躍中の先生方 57名
8/12(日)	「学校でのSST体験講座」	岩坂英巳、奈良市で活躍中の先生方 53名
2/2(土)	「特別な配慮が必要な子どもに対する具体的支援ー認知行動療法アプローチを用いてー」	松浦直己 32名
2/23(土)	「特別な配慮が必要な子どもに対する具体的支援ー教室で取り組める感覚統合的支援とSSTー」	加藤寿宏氏(京都大学医学部保健学科)、宮崎義博氏(県総合リハビリテーションセンター)、宮崎瑠理子 77名
平成19年度特別支援教育公開セミナー (参加者数)		
3/14(金)	「青年・成人期の発達障害のある人のセルフエスティームと教育支援の促進 ーLandmark Collegeの経験からー」	Alicia Brandon氏、Steven Fadden氏 63名

【専門プログラムの開発と実践】

ソーシャルスキルトレーニング(SST)の紹介・実践報告

奈良教育大学SST '土曜SSTくらぶ'

「友だちと上手く遊ぶためのワザを身につけよう」というテーマでAD/HDなどを持つ子どもたちを対象に実施しています。本SSTは、スタッフの劇を見てもっと上手にいく方法を考えロールプレイをする学習タイムと学習したことを生かして遊ぶ遊びタイムに別れており、米国UCLAのプログラムをもとに学校の様子などの観察も踏まえて内容を決めています。このSSTを通して「友達と上手く遊べた！」という経験をどんどん重ねていって欲しいと思います。

平成19年度は…

第一期の土曜SSTくらぶには、小学校4年生から中学校1年生までの男の子5人・女の子3人が参加しました。最初は知らない子ばかりで緊張していた子ども達も次第に仲良くなり、毎回楽しく学び・遊ぶことが出来ました。最終回には、お昼を自分たちで作った後、修了式を行いました。

1年間頑張って参加し、修了証をもらった子ども達の笑顔は、本当にキラキラと輝いていました。



学習タイムでスキルを学びます



遊びタイムでは、スキルを使って協力プレー！

参加のA君保護者から感想いただきました！

新しい事を始めるのにとっても緊張するタイプのわが息子、SSTに初めて参加する日もとても不安そうでした。でも不思議とグループのお友達とはすぐになじみ、回を追うにつれとても仲良しになりました。学習タイムと遊びタイムで構成されるトレーニング、習ったスキルをすぐ試してみるための遊びタイムでしたが、毎回すごい盛り上がり！チームでの遊びが楽しそうでした。一方わが子が言うには「実は僕は学習タイムが好きだった！」との事。自分のためになる話がいっぱい、発表したりプリントをしたりしながら色々な事がわかったそうです。また学んだスキルが使えた時、自分のことを「成長したな～」と感じられるのがとても嬉しかったそうです。わが子はもちろんのことグループの子供たち全員が、トレーニングが進むにつれだんだん自信を付けてゆき、表情が明るくなり、じっくり成長していった姿が、とても印象に残っています。

ペアレントトレーニング(P T)の紹介・実践報告

ペアレントトレーニング

米国UCLAのプログラムを日本風にアレンジしたもので、診断治療ガイドラインでも推奨されています。保護者が計10回半年間参加し、AD/HDなどを持つ子どもたちの行動を理解し、適切な対応法を具体的に学習・練習して身につけて、よりよい親子関係づくりと子どもの適応行動の増加を目指します。一緒に子どもの良いところ探しをして、成長を楽しんでいきましょう。

平成19年度は…

第10期となるPTには、小学校3年生から中学1年生までの子どものお母さん(ときにお父さんも登場!)7名が参加しました。回を重ねるにつれて子どもの良いところに目が向きやすくなり、ほめ上手となり、ばっちり指示の出し方をマスターしていきました。当然、子ども自身もできることが増えて、自信をつけていきました。また、参加者同士でも仲良くなり、終了後もフォローアップの会などでの再会を楽しんでいます。



平成20年度予定 【内容や申込方法など詳細はHPをご参照ください】

【研修計画】

(1) 公開講座 <全5講座>

[会場]

- ①6/28(土)14:00-17:00 「ライフサイクル全般の支援」 田中康雄 氏(北海道大学) [ならまちセンター]
- ②8/19(火)13:30-16:30 「保育の場での支援」 丸山美和子 氏(佛教大学) [附属幼稚園遊戯室]
- ③9/20(土)13:30-16:30 「学校での支援」 中尾繁樹 氏(関西国際大学) [大講義室]
- ④10/18(土)13:30-16:30 「社会参加へ向けての支援」 岩坂秀樹 氏(赤城少年院)、松浦直己 [大講義室]
- ⑤12/6(土)午後 公開シンポジウム(午前は分科会を予定) (シンポジスト、講師等は未定) [大講義室]

(2) 支援員研修 <全7講座>

●上記公開講座①②③④は支援員研修も兼ねています

- ⑤1/10(土)13:00-17:00 「感覚統合理論を活かした園や学校生活支援」
宮崎義博(奈良県総合リハビリセンター)、宮崎瑠理子 [実践センター]
- ⑥2/21(土) 13:00-17:00 「教室での子どもとのかかわり方-認知行動療法を応用して-」
松浦直己 [実践センター]
- ⑦3/7(土)13:00-17:00 「ソーシャルスキルに注目した子どもと親への支援」 岩坂英巳
「学校で活動するにあたって」 河合淳伍 [実践センター]

(3) 養成講座 <全6回>

●上記支援員研修⑤⑥は、養成講座も兼ねる予定です。

- ①7/13(日)終日 ペアトレ指導者養成講座(初級編) 岩坂英巳 [附属小多目的ホール]
- ②7/26(土)終日 ペアトレ指導者養成講座(上級編) 岩坂英巳 [実践センター]
- ③8/23(土)終日 SST 指導者養成講座 実践されている先生方、岩坂英巳 [実践センター]
- ④8/26(火)終日 TT 指導者養成講座 実践されている先生方、岩坂英巳 [実践センター]

【専門プログラム 予定】

●ソーシャルスキルトレーニング(SST)

平成20年5月～平成21年2月/月1回土曜日午前中の全10回実施予定
(他、事前評価・事後評価・レクレーション・修了式も実施します)

●ペアレントトレーニング(PT)

平成20年6月～11月 主に火曜日午前中の全10回実施予定。
(修了式・個別ブースターも実施します)

特別支援教育研究センター スタッフ



よろしくお願ひ申し上げます。

★センター長：岩坂英巳(精神科医)

★特任教授：河合 淳伍(元教員) ★特任准教授：松浦 直己(特別支援教育士SV)

★相談員：植村里香(臨床発達心理士)、宮崎瑠理子(作業療法士)

★教育学部兼務教員：玉村公二彦、越野和之 ★庶務：武藤葉子、近藤真理子

